

新潟県政記者クラブ
新潟市政記者クラブ
長岡市記者クラブ
上越市記者クラブ
本誌投込みをもって解禁

新潟国道事務所
羽越河川国道事務所
長岡国道事務所
高田河川国道事務所

事故ゼロプラン

〈事故危険区間重点解消作戦〉

新潟県版



知っていますか？『事故危険区間』

～あなたの身近な危険区間を知って、アンケートにご協力下さい。～

- 道路利用者の皆様に、直轄国道（国が管理する国道）の中で交通事故の危険を感じる場所などについてアンケートを実施します。
- 平成24年度までに選定された「事故危険区間」を見て、チェックして、他にも「危ない」と思う場所を教えて下さい。
- 皆様から頂いたアンケートをもとに道路管理者で確認を行い、「事故危険区間」への追加や対策ニーズの検討に反映します。

アンケートの回答方法

- ① ホームページの場合：新潟国道事務所ホームページより、下記のバナーをクリックし、アンケートにお進み下さい。
- ② ハガキアンケートの場合：アンケート調査票のハガキ回答欄にご記入の上、切り離してご投函ください。（切手不要）切り離れたハガキアンケートは、ヒヤリハットマップとして活用できます。

見て

事故データや
皆様の意見から「事故危険区間」
を選定しました。

チェック
して

「事故危険区間」を
知ってください。

教えて

他にも「危ない」と思う場所を教
えてください。

事故危険区間を知る方法

ホーム
ページ
より

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku>

にいく

検索



ハガキ
アンケート
より

配布
場所

- 新潟県内の道の駅、市町村役場など
- 募集期限/平成25年12月20日（金）

アンケートの回答方法

見て チェック して 教えて 新潟県の
国道に関するアンケート

へお進み
ご回答ください。

はがき回答欄にご記入のうえ、切り離してご投函ください。
（切手は不要です）



お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所
交通対策課長 大瀬 宝 （内線471）

電話 025-244-2159（代表） FAX 025-246-7744

事故を防ぐために



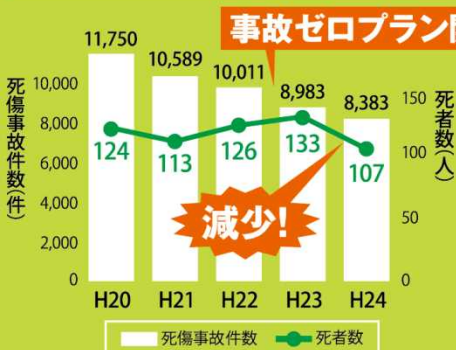
平成22年度より **事故ゼロプラン** による交通事故対策を進めています！

事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)とは、安全安心な道路環境を実現するため、「選択と集中」、「住民参加・協働」により、重点的・集中的に継続的な交通事故の対策を進める取り組みです。

対策を行っている新潟県内の国道(直轄国道)



県内の死傷事故件数と死者数の推移



事故ゼロプラン開始

減少!

県内直轄国道*の道路延長・事故件数(H23)

※国土交通省が管理する国道7、8、17、18、49、113、116号



直轄国道は道路延長に対して事故率が高い!

全事故に占める重傷・死亡事故の割合(H23)



全国の約1.7倍

しかし

事故ゼロプランを開始した後の平成24年にも、8千件以上の交通事故が発生し、100人以上の方が亡くなっています。

まだまだ重大な事故が多いなあ。
もっと万全な交通事故対策が必要だね。

例えば、こんな交通事故対策をしています

国道7号
紫竹山IC周辺の場合



- 多車線のため、車線変更が多く追突事故が発生しやすい。
- どの車線を走ればいいのかわかりづらい。

車線変更が原因の事故が多かったのね。



交差点手前の急な車線変更が多い。



前方車両の速度低下に気付かず追突

事故を減らすため、こんな対策をしました!

カラー連携標示

案内標識とカラー舗装の色を同系色で案内。迷い運転を防ぎ、車線変更を円滑にします。



紫竹山交差点の事故発生件数

対策後は事故が減ってるね。



追突事故 3.8件/年削減

交通事故の対策は、多種多様な方法の中から、事故の発生状況や道路の構造等を勘案して、その場所で最適と考えられる対策を選定して、実施します。

【集計期間】 対策前 H16.1~19.12
対策後 H23.2~24.12